

「コンピュータ将棋の最前線」

State-of-the-art of computer Shogi



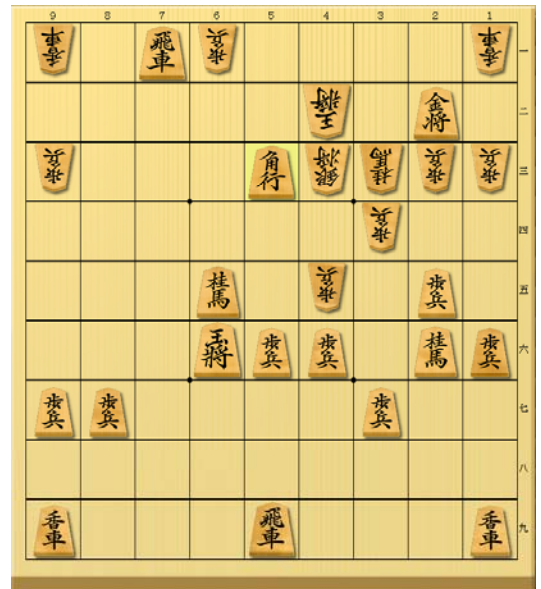
鶴岡 慶雅

情報科学研究科

2011 5/19(木) 12:40 – 13:20

知識科学研究科講義棟 1F エントランスホール

2010年秋、情報処理学会から将棋連盟への「挑戦状」をうけて行われた公開対局において、コンピュータは清水市代女流王将に勝利した。いまやコンピュータ将棋の実力は、プロ棋士のレベルに到達しつつあるといわれる。本講演では、将棋プログラム「激指」の開発に関する話を中心に、コンピュータ将棋、およびゲーム研究の現況について紹介する。特に、近年のコンピュータ将棋の棋力向上の原動力となった、機械学習による探索範囲制御、および評価関数の自動学習手法について詳細に述べる。



エントランスホールは、
知識講義棟1F、中講義室の真下
学生課前の階段を下りた先です。

学内連携セミナーは、JAISTで行われている研究の知識共有を目指しています。専門家以外も楽しめるセミナーを行いますので、ぜひ講師以外の研究科の方もご来聴下さい。

世話人：鶴木、小矢野、橋本、長谷川、戸田、寺倉